

■ハング競技委員会議事録

◆日時

2015年11月2日(月)10:00-15:00

◆場所

足尾ショップ

◆参加者

板垣(委員長)、北野、鈴木、牟田園、野尻(欠席)

大沢、田中(元)

◆議事録

牟田園

◆議題

1.前回の持ち帰り事項

板垣

- ・大会結果報告書のフォーマットを更新する
→11月中に対応する
- ・メキシコ世界選手権の候補選手に参加の意志を確認する(10月20日締め切り)
→完了
- ・クラス5の規則を見直す
→鈴木が叩き台を作って競技委員会の審議にかける

北野

- ・競技規定に記載の名称(デパーチャーオープンなど)を世界基準の表現に統一する
→2015年中に対応する、牟田園が原本を北野に送る

牟田園

- ・ポイント大会のカテゴリー2申請を推奨する旨を文書化し、主催者側にも告知する
→2015年中に対応する
- ・大会主催者に対して、大会申請に必要なものをHPに明示し、告知する
→完了
- ・ルールの変更点、デジタル無線の移行、GPSの推奨についてシリーズ登録選手にメールで広報する
→完了
- ・次年度の規則案を作成して競技委員会の稟議にかける
→完了

鈴木

- ・過去に最速ゴールタイムが1.0hを切った競技の結果について、パラメータを変更して考察する
→競技委員会の議題に挙げるのが漏れていたため、次年度の競技委員会で検討する

2.議題・報告

2.1.ルール改定

- GAPバージョンの見直し
世界の動向に追いつくために、次年度はGAP2014で運用する
- FSとGPSdumpのバージョン
現時点で最新のバージョンを採用し、年間を通じて同じバージョンを使用する
規定にもバージョンを明記する
→FS: 2015 R2
GPSDump: 4.92
- GAPパラメータ検討
別紙参照
GAP2014の簡易説明書を作って競技規定の末尾に載せる(野尻)
GAPパラメータを大会個別で変更するかどうか
→パラメータは次年度も変更しない、大会個別で変更もしない
- スマホデータでのスコアリング
2016年度から採用する
- 海外ポイント計算式の緩和
→採用条件を緩和する
-参加人数は40人
-国際シードは3人
- 複数回スタート時の時間判定
牟田園がFSフォーラムで問い合わせ中
回答の内容を競技委員会にフィードバックする

2.2.アジア選手権

アジア選手権として開催される時期の目処がたった時点で競技委員会の議題とする
それまでは、動向を観察し、競技委員会の議題からは割愛する

2.3.次期競技委員の選出

板垣:継続
北野:卒業
鈴木:継続
野尻:継続
牟田園:継続
田中(元):新規

役割分担

板垣:委員長
鈴木:会計
野尻:議決管理
牟田園:規則管理、HP管理
田中(元):

2.4.日本選手権

毎回同じようなエリアで日本選手権が開催される現状を改善したい
競技委員会として開催スケジュールを作成して事前に主催者に打診する(板垣)
(案)

2017年度:西富士
2018年度:紀ノ川
2019年度:池田
2020年度:足尾

3.持ち帰り事項

板垣

- ・大会結果報告書のフォーマットを更新する
- ・競技委員会として日本選手権開催スケジュールを作成して事前に主催者に打診する

北野

- ・競技規定に記載の名称(デパーチャーオープンなど)を世界基準の表現に統一する

牟田園

- ・ポイント大会のカテゴリ-2申請を推奨する旨を文書化し、主催者側にも告知する
- ・次年度の規則案を作成して競技委員会の稟議にかける
- ・「複数回スタート時の時間判定」についての回答内容を競技委員会にフィードバックする
- ・フライングのペナルティがミニマム得点よりも大きい場合のスコアリングについてシミュレーションする
→ミニマム得点は付与されることを確認

鈴木

- ・クラス5規則を見直す
- ・過去に最速ゴールタイムが1.0hを切った競技の結果について、パラメータを変更して考察した結果を次回の競技委員会で討議する

野尻

- ・GAP2014の簡易説明書を作って競技規定の末尾に載せる

田中(元)

GAP検討資料

●FS
■バージョン
2015 R1

■GAP資料
http://www.fai.org/downloads/civil/SC7_GAP

■GAP2014
・nom_launch(0.96:default)
安全上の理由で選手がテイクオフしなかった場合の閾値
この数字よりもテイクオフ率が低かった場合にテイクオフ係数が減らされる

・タスクストップ時の成立条件
ーゴール者がいること
or
ー最初に選手が切ったスタート時間、から、タスクストップタイムがミニマムタイムより長い

○タスクストップタイム
a.スタートゲートが1回の場合
タスクストップがコールされた時間 - 15分
b.それ以外の場合
タスクストップがコールされた時間 - スタートインターバル

○ミニマムタイム(min_time_span_for_valid_task)
a.カテゴリー2と女子世界戦の場合
60分
b.それ以外の場合
90分
※Softwareのインタフェースでは、どちらかしか選べないようになっている。ソースで30分などを指定することも可能だが推奨しない

・タスクストップ時の集計対象時間
最後の選手がスタートを切った時間から、タスクストップタイムまでの時間が全ての選手に適用される
ex. 最後にスタートした選手のスタート時間が13:30、タスクストップ時間が14:20の場合
各選手がスタートして50分間のログが集計対象となる

・タスクストップ時のボーナス距離得点
タスクストップ時点の高度から、パラメータで指定された滑空比に応じて、飛行距離が追加される
bonus_gr(default:5)
追加で付与されるのは距離得点のみで、タイム得点やリーディング得点には影響を与えない

・ESS but not goal
タイム得点とアライバル得点が2割減点される
※新しいルールではないが、規則に明記する

・フライング(jump the gun)のペナルティ
jump_the_gun_factor(default:3)
この秒数ごとに1点減点される
jump_the_gun_max(default:300)
→jump_the_gun_maxは900にする
→ペナルティがミニマム得点より大きい場合に0スコアになるかどうかを持ち帰り確認する
この秒数より多くフライングした場合はミニマム得点になる